

ヨード系造影剤を用いた画像検査の同意書

1. CT・IP

血管内にヨード系造影剤を注入して撮影することにより、血管系や尿路系、胆道系の検査を行います。注射された造影剤は、腎機能が正常であれば注射後約6時間で90%が尿となって排出され（DICでは48時間後に80%が便、24時間後に10%が尿）、やがて全てが体外へ排出されます。造影剤を使用すると稀に副作用を伴う場合があります。（発疹、はきけ、動悸、ショックなど）副作用には使用した直後に発生するものと、2～3日後に発症する遅発性のものがあり、まれ検査終了後数時間から10日後くらいの間に頭痛や、体がだるくなったり、じん麻疹が出たりすることがあります。

また、1回目ではなくても2回目で症状が出る場合もあります。

- ・軽い副作用 ほとんどが、くしゃみや一時的に気分が悪くなったり、吐き気、じん麻疹が出たり、痒みが起きたりといった軽いものです。まれに冷や汗が出たり、胸が苦しくなることがあります。
- ・重い副作用 約2万5千人に1人程度の割合で、ショックなどの重い副作用を生じることがあり、極めてまれですが死亡例の報告があります。

これらの副作用が生じた場合には、処置、治療が必要なことがありますので、お申し出ください。また、他に何か異常が現れた場合には、すぐに来院されるか、病院へご連絡ください。造影剤による副作用の発生を事前に予知するための問診と副作用に対するご理解を頂き、検査の承認をお願いいたします。尚、ご不明な点はご遠慮なくお尋ねください。

担当医師

同席者

2. アレルギー、腎機能に関する質問事項

1. 薬物・食物のアレルギーの既往はありますか？

() なし

() あり ⇒

喘息(あり：ヨード造影剤は禁忌) 蕁麻疹 アトピー 花粉症
その他 ()

2. 過去に造影剤を使用した検査をしたことはありますか？

() なし

() あり ⇒

CTスキャン 腎臓(尿路)造影 胆嚢造影 関節造影
心臓カテーテル 血管造影 MRI その他 ()

3. 2で“(○)”ありとした方にお聞きします。その検査中または検査後に副作用は出ましたか？

() なし

() あり ⇒

蕁麻疹 発赤 口渇 あくび はきけ 嘔吐 発熱
呼吸困難 その他 ()

4. eGFR値 () mL/min/1.73 m² 測定日 年 月 日 (またはクレアチニン値) () mg/dl

注：eGFR値、クレアチニン値の測定日は、必ずCT造影検査予約日の3ヶ月以内の値を記入下さい。
(eGFR:45mL/分/1.73m²未満の場合は、当院にて検査のご対応はお受け兼ねます。)

戸塚共立第2病院 院長 宛

私は、現在の疾病の診療に関して説明を受け、その必要性和利点およびそれに伴う副作用等の危険性について十分に理解しました。

上記の実施及びそれに関連して医師が必要と認める検査や処置を受けることに同意いたします。

また、緊急の事態が発生した場合には、それに対する処置を受けることにも同意いたします（副作用が起きた場合に係る医療費は、患者様の負担となります）。

検査・治療の同意は、実施の直前までに撤回することができます。

年 月 日

患者本人署名

親族または代理人署名

続柄()